

NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

5 月 ISM 製造業景況指数 48.7（予想 49.5・前回 49.2）

5 月の ISM 製造業景況指数は、市場予想を下回り 2 ヶ月連続の低下となった。また、景気の拡大・縮小の判断基準となる 50 を 2 ヶ月連続で下回った。新規受注は 45.4（前月 49.1）と 2022 年 6 月以来の大幅な落ち込みとなり、生産も 50.2（51.3）、仕入価格が 57.0（60.9）、在庫が 47.9（48.2）と低下した。一方、雇用は 51.1（48.6）と 3 ヶ月連続の上昇となった。また、5 月は、7 業種が活動の拡大を、7 業種が活動の縮小をそれぞれ報告した。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均は反落、ナスダック 4 営業日ぶりに反発

米株式市場では、米経済指標が冴えない結果となったことを受けて、米景気の先行き不安を背景に売りが優勢となった。ただ、下げ一服後は、米長期金利の低下を受けて買い戻しも入り、特に金利動向に敏感なナスダックはプラス圏を回復して終了した。ダウ平均は、序盤から軟調な動きとなり、一時前週末比 439 ドル安まで下落した。ただ、その後は下げ幅を縮小する動きとなり、115.29 ドル安 (-0.30%) で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは、93.65 ポイント高 (+0.56%) で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	エネルギー	-2.98%	1	シェブロン	-2.98%
2	素材	-2.71%	2	DOW	-2.71%
3	金融	-0.88%	3	トラベラーズ	-2.48%
4	消費者サービス	-0.50%	4	キャタピラー	-2.12%
5	資本財	-0.41%	5	ホームデポ	-2.05%

データを基に SBILM が作成

ドルは主要通貨に対して軟調な動き

NY 市場では、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドルは序盤から主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後には発表された5月の米ISM製造業景況指数、4月の米建設支出がともに冴えない結果となったことを受けて、米長期金利の低下とともにドルは一段の下落となった。ドル/円は、序盤の156.94から155.95まで下落し、5/21以来の156円台割れとなった。その後は終盤まで上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。